

青年部・女性部

地域を見つめ直す運動で、
まつりと食材に関する本を発刊

長野県商工会青年部連合会・女性部連合会

長野県青連 〓 長野県商工会青年部連合会（中山芳秀会長・部員二二六八人）、長野県女性連 〓 長野県商工会女性部連合会（吉川とのゑ会長・部員七〇八〇人）は、青年部・女性部の事業の一環として、地域を見つめ直す運動を展開しています。

青年部ではまつりをテーマに、女性部では食をキーワードに取り組み、それぞれ一冊の本にまとめました。

●長野県青連が『信州ふるさとのまつり』を発刊

今に生きる信州のまつりを一冊の本に

長野県青連では、長野県内のさまざまなまつりを一冊にまとめた『信州ふるさとのまつり』を発刊しました。「平成の市町村合併」が進み、長野県でも市町村の枠組みも変わってきています。



『信州ふるさとのまつり』 定価1,890円
B5変形判 326頁 信州大学人文学部教授 笹本正治監修 長野県商工会青年部編

長野県青連では、これまで信州各地に受け継がれてきた伝統行事やまつりを今の時点ですっかり記録に残したいと、県下商工会青年部員が自らの足で調べ、写真を集め、本としてまとめたものです。

すでに消えてしまったまつりではなく、現在も行われているまつりを通じて信州・長野県の現在を浮き彫

りにしたものです。

長野県青連の中山会長は、「市町村合併が進み、この本に掲載されているまつりのいくつかは今後なくなってしまうかもしれません。しかし、市町村合併が進められているこのようなときであるからこそ、この本を出す意味があります。ここに掲載されているまつりは、現在も行われているものであり、各青年部一押し（いっしょ）のものを選んでいます。写真も多いので、目で見ても楽しめるものになっています。信州出身の県外在住者の方はもとより、観光で信州を訪れてみたいという方も楽しめます」と出版への思いを述べていました。

●青年部ビジネスフェアも好評

長野県青連では、平成十五年度からビジネスフェアを開催しており、今年度で三回目の開催です。

ビジネスフェアは、商工会青年部の新たなビジネスチャンス創出の場作り、販路開拓・ビジネスネットワーク構築などを目的としており、青年部員のみならず、関係者から高いへん好評です。

十七年度の実行委員会の胡桃沢委員長は、「ゆくゆくは、関東圏域各都府県青連の共同による首都圏開催がで



食・食材×環境を考えるフォーラム（女性部）



青年部ビジネスフェア

できればいいと思います」と夢を語っています。

●長野県女性連は「信州ふるさとの食材」を発刊

信州の豊かな自然が育んだ食材と料理を紹介

長野県女性連は、長野県内各地の食材とそれを素材とした料理を一冊にまとめた『信州ふるさとの食材』を発刊しました。

南北に長く、山と谷に囲まれた長野県にはさまざまな「食材」があり、長い歴史と風土の中で「郷土食」として受け継がれ、さまざまな工夫とセンスで作られた「現代食」が生まれています。

また、昨今は環境問題については、国民的課題にとどまらず地球的課題にもなってきたおり、食を扱う事業



『信州ふるさとの食材』 定価1,890円
B5変形判 230頁 つれづれ遊学舎主宰
武田徹監修 長野県商工会女性部連合会編

者も環境を意識しなくては経営的にも立ち行かなくなるといっても過言ではないはずです。

この本は、食材、郷土食、現代食、環境をキーワードに長野県各地域を見つめ直したのもでもあります。料理の写真はプロにお願いしましたが、商工会女性部員が実際に食材を集め、料理を作り、レシピ（料理の作り方）をまとめました。いわば女性部手作りの本です。

吉川県女性連会長は、「この本を手にとられた方が、信州の食を再発見し、地域や信州全体のすばらしさを再認識していただきたいと願っています。写真も多く、見るだけで楽しくなります」と本の意義を語っていました。

●食と環境のフォーラムを開催

県女性連は、平成十七年三月、本としてまとめた「信州の食材」を地域、環境等多角的視点から考えるフォーラムを開催しました。

パネリストには、地元長野県で活躍している料理研究者、乳製品製造

幸手市商工会（TMO幸手）
「幸せ」テーマに作品募集

埼玉県・幸手市商工会（TMO幸手）は、一般から募集した幸せをテーマにした作品を元に冊子『幸手幸せ物語』を制作します。

幸手の地名にちなみ、幸せをテーマにした作品を一般から募り、それをアレンジして物語として完成させ、中心市街地の活性化につなげようというものです。作品は手記、手紙、絵、詩、俳句、写真などで、幸せをテーマにしたものなら何を取り上げてかまいません。締め切りは12月31日（消印有効）。採用者には冊子と記念品を贈呈します。

申込先
幸手市商業共同組合（幸手市商工会館内）
「幸せづくり応援事業係」
〒340-0114 埼玉県幸手市東3-8-3
（TEL.0480-43-3863）まで
ホームページ <http://www.tmo-satte.com/>

会社社長、有限会社組織の畑作農家等を迎え、女性部員や一般県民合わせて約三〇〇人が参加しました。

パネリストの一人の畑作農家は、「秋に収穫せず、ひと冬雪の下ですごしたニンジンやスノーキャロットと名づけ、五月中旬に期間限定販売をしています。果物のような甘さが出るので、たいへん人気があります」と新たな取り組みを話していました。

『信州ふるさとの食材』のおよび

『信州ふるさとの食材』の本のお問い合わせは、長野県商工会連合会指導課（電話〇二六―二二八―二二三三）またはほおずき書籍（長野市。電話〇二六―二四四―〇二三五）までお願いします。